

ウエルシアホールディングス株式会社

2025年2月期 決算説明会 質疑応答（要旨）

2025年4月14日

【業績および取組みについて】

Q：2期連続減益である中で、ウエルシアHDとして2023年2月期の最高益を超えるタイミングは。

A：ウエルシア単独で考えた場合、新年度の計画は増収増益ではあるものの、過去の営業利益・経常利益の水準からすれば十分ではない。個々の会社が強くなければ、新会社としても強くないと考えており、当社としても従前の経常利益率4%を目指していきたい。

それに加えて、統合効果をプラスして、新会社として中長期の目標達成を目指していきたい。

Q：WAON POINT サービスへの切替え後、提示率がしっかり上がってきている。そして、IDデータ活用のフェーズに入っていくと思うが、具体的にどんな形で業績にプラス効果があるのか。

A：WAON POINT サービスについては、導入以降苦労もあったが前期末で提示率は6割ほどなり、順調に利用が進んでいる。IDデータ活用としては、新年度の下期には具体的な動きができると考えている。新年度はアプリの刷新も計画しており、マーケティングもデータ分析を進めながら効率よくできると考えている。また、販促がデジタルに置き換わっていく事で、店舗の生産性も向上していく。

従って、無駄な販促による粗利率の低下が減り、店舗の作業コストも軽くなることで利益にプラスに働いていく事となる。

Q：来期の改装は関東中心で実施との事だが、具体的には今期出来ていなかった改装はどういったものがあるのか。

A：改装については、今まで当社の地盤であった関東よりも、M&A先の企業などを優先して改装を行ってきた。今後は、収益基盤である埼玉や千葉を中心に改装を進めていく。

改装ができていない店舗は、レイアウトが古くなっており、現在の地域ニーズを満たせていないと考えている。地域に合ったニーズを分析しながら、それに合った改装を実施していきたい。

【ツルハHDとの経営統合について】

Q：ツルハHDとの経営統合を成功させるために、過去の経験から、どんな事に注意を払っているのか。

A：過去の当社のM&Aについては、共に信頼しあい、人の交流が行われていく事で一気に良い方向に変わっていく事を経験している。大きい会社であっても、お互いが信頼しあっていく事が一番大切だと考えている。良い部分はお互いに学び取り、共有化していく事が大切。それにより、規模にかかわらず統合は成功すると考えている。

Q：独禁法のクリアランス取得前で、なぜこのタイミングで発表したのか。

A：本件は、株主総会の決議事項となり、当社の定時株主総会は5月27日予定している。皆様の賛同を頂きたいという事で、このタイミングで発表することがいいと考えた。また、公正取引委員会への対応を進めている中で、ある程度先が見えてきたと考えている。

Q：経営統合シナジーについて、まだ独禁法のクリアランス取得前で、具体的なデータをお互い共有できない状態での試算になる。その中で、3社合計3年間で500億円というのは、どの程度確実性があるのか。また、過去の小売り業界でのM&Aと同様に、仕入れ条件の改善による効果が大きいのか。

A：当社もツルハHDもこれまで多くのM&Aを経験している。

それらの経験を踏まえ、簡単ではないが3社で500億円のシナジーは想定できると考えている。シナジーの内訳については、商品関連で生み出されるものが多いと考えているが、商品以外の部分でも、電力調達やスケールメリットを生かす事で、シナジーは想定される。

Q：経営統合において、ポイントサービス、店舗フォーマット、看板、システムなどを早期に統合を進めると投資もかかり、混乱も発生するかと思う。ウエルシアとしては、この部分の統合についてはどのように考えているのか。

A：ポイントサービスやシステムなどの統合について、例えばシステムを合わせる為には、コストも時間も多くなる。どう進めていくかは、今後検討していく。

Q：今後のウエルシアHDとツルハHDの、店舗フォーマットについてはどう変わっていくのか。

それぞれの企業で専門性や利便性などの個性がある中で、立地に応じてドラッグアンドフード業態を作り、それ以外は大きく変わらないのか。

A：ドラッグストアの業態の考え方は、時代とともに変わってきている。また、統合後2社で別の事を取組んでいたら意味がないと考えている。専門性と利便性という事では、両社の良いものを取り合って、より強い店舗を作っていきたいと考えている。

ドラッグアンドフードという事では、当社がドラッグストアとして、ヘルス&ビューティの商品を中心に考えていく事は変わらない。そこに、生鮮、弁当やお総菜などの利便性のある食品を扱っていくイメージとなる。郊外型、人口減少のエリアなど、立地特性に合わせて導入していく。

以上